

非日常的な体験を通して 町内小学校4年生による宿泊体験活動

9月から10月にかけて、町内3小学校の4年生が、学校ごとに宿泊交流館「ワクス」で一泊二日の「宿泊体験活動」を行いました。

今年度から始まったこの活動は、家庭を離れて宿泊し身の回りのことを自分で行うなどして自立的に生活していこうとする気持ちや、集団の中の一員として他の人と関わっていく力を高めていくことをねらいとして実施されました。

主なプログラムとして、日中は、仙南小学校・千畑小学校は花まる学習会による「青空教室」、六郷小学校はプロジェクト・アドベンチャー・ジャパンによる「PA体験」、夜は、3校とも横手星の会による星空観察を行いました。

子どもたちは、自然の中で五感を使ってさまざまな活動をしたり、学年みんなで宿泊したりすることを通して、体験を豊かにし仲間の絆を深め合いました。



読書の秋 美郷町読書フェスタ

11月1日、学友館を会場に美郷町読書フェスタが開催され、心に残った一冊の紹介コンクール表彰式や読み聞かせと音楽のミニコンサートなど読書にちなんださまざまなイベントが行われました。また、共催展示として「福田豊四郎絵本原画展」が10月25日から11月15日まで開催され、民話「夕鶴」の世界が来場者を楽しませてくれました。

心に残った一冊の
紹介コンクール
最優秀者と作品

佐藤 七穂さん (六郷小3年)	パオズになったおひなさま
伊藤ハルカさん (千畑小3年)	なぜ? どうして? 科学のお話3年生
田口 舞夏さん (千畑小6年)	ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと
堀井 達哉さん (仙南小6年)	命の教室 動物管理センターからのメッセージ
煙山 悠加さん (美郷中1年)	傘をもたない蟻たちは
山田 竜さん (美郷中1年)	雨ふる本屋
伊藤 陽菜さん (六郷高校3年)	崖の国物語
熊谷 順子さん (新町)	100歳のジャーナリストからきみへ

応募総数257点



生薬の里を目指して 平場の森記念植樹および薬樹の森づくり活動植樹事業

11月3日、平場の森を会場に記念植樹、旧花岡スキー場跡地を会場に薬樹の森づくり活動植樹事業が行われました。

当日は公益社団法人東京生薬協会会長の藤井隆太さんをはじめ高校生から一般の方まで約100人の参加者が集まり、住民活動センターで、薬用植物資源研究センター研究員の飯田修先生より薬樹についてお話を聞いた後、平場の森に移動し、イチヨウやウコギなど計19種94本を植樹。旧花岡スキー場跡地に移動し、ホオノキ100本の植樹を行いました。

集まった参加者の皆さんは、実際に自分たちの手で植樹をすることで、その木が育ち、緑が育まれていく情景に思いを馳せているようでした。



秋田の元気を美郷から 美郷カレッジ

11月7日、美郷カレッジが宿泊交流館ワクスを会場に開催されました。今年度最後となった第7回講座は日本航空株式会社取締役専務執行役員である藤田直志さんを講師に招き「JAL再生の取り組みについて」というテーマで行われました。

一般講義では、日本航空が抱えていた経営上の問題点が語られ、破綻したのちどのように再生への道を歩んできたか、またその際に重要となった企業理念とフィロソフィ（哲学）の策定という心の面の改革がもたらしたことについて学びました。

一般講義の後には特別講義「夜なベトーク」で参加者は講師と直接触れ合いながら、知識と交流を深めました。



第9回 町議会 臨時会

平成27年第9回町議会臨時会が11月2日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。



報告・可決された案件

■専決処分事項の報告について ■財産の取得について

秋田県七滝土地改良区から六郷東根字七滝の水源かん養保安林を町有財産として取得することについて議決を求め、可決されました。

■工事請負契約の締結について

仙南中央地区簡易水道紫外線処理施設設置工事の請負契約を締結することについて議決を求め、可決されました。

■平成27年度美郷町一般会計補正予算第6号

ふるさと美郷応援寄付にかかる報償金の増額、清水川周辺の環境整備に伴う支障物除去委託料の追加などについて、歳入歳出予算にそれぞれ189万6千円を追加し、総額を109億4821万3千円としました。

■平成27年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第3号

■平成27年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第3号

年末読書

美郷町長 松田知己

風



平場の森にて植樹活動に参加する松田町長

先月、羽田発午後7時のJAL便で帰町する出張がありました。その時は天気が良く、眼下の美しい夜景に「うわあ、きれいだ」と子供のように感動しました。と同時に、なんでこんなに感動するのかをちょっと考えてみました。行き着くところは多様な光の存在でした。夜景には、ビル照明の白、道路照明灯のオレンジ、それに赤色灯など、多様な光が存在しています。星空と同様、色の混交が根源的な美意識をくすぐると

ともに、多様な光は多様な産業展開の結果でもあり、それにも感動したのだと理解しました。そして、「これは人の社会も同じだな」との思いも生じた次第です。

社会には、確実に多様な個性と価値観が存在しています。だからこそ多様な可能性と展開があり、社会が輝けると私は思っています。その維持には、基本的に多様性の受容が求められますが、そこが欠落すると、自己中心ゆえの他者批判という低次元の言動に陥ってしまいます。そうならないためには、自己啓発の意識と実践が求められますが、手っ取り早い実践は読書であると私は信じています。読書は、申すまでもなく知識の蓄積とそれを踏まえた思考整理等のきっかけをつくります。また、例えば小説においては、他者の人生を歩むという仮想経験を得ることで、改めて人生を考えるきっかけもつくります。こうしたことが、結果的に自己啓発とともに、他者の個性等を認識し、多様性を受け止める機会になるはずで

先月、東京日本橋東ロータリークラブ様から、町内の学校に図書が寄贈されました。きっかけは当該クラブ会員である町内企業の社長さんです。そのご縁で、私は昨年、卓話をさせていただきましたが、美郷の子供たちに奉仕活動をした旨の打診もいただき、日頃の想いをもって複数の提案をさせていただきました。決定したのが図書の寄贈でした。心から感謝を申し上げます。そして読書の持つ意義が、子供たちに深く浸透することを期待したいと思います。年末に入り、何かと忙しいことと思います。だからこそ心に多様な栄養補給です。今年の締め括りの読書、みなさんでいたしましょう！